

画面に直接筆記

電子黒板システム開発

農工大

東京農工大学の中川正樹

教授の研究グループは、ディスプレイ上に電子ペンで文字や図形を書くことのできる新たな電子黒板システムを開発した。ソフトウェア化した各科目の教材を読み出し、ディスプレイ上に文字や図形を書き込んで授業をすることができ、児童の視覚に訴えた授業が可能で理解が進むとみている。

新システムは黒板の代わりにディスプレイ、白墨の代わりに電子ペンを使う。

ペン入力で操作しディスプレイに教材などを映し出して使う。ディスプレイ上では任意の場所に自由に文字や図を書ける。

グラフ作成や日本の地図、漢字練習といった教材をソフトウェア化してあら

かじめシステムに組み込んでおく。例えば、教材ソフトから豆電球と電池の絵を

ディスプレイ上に読み出し、電子ペンで回路を正しく書き込むと豆電球が点灯するといった使い方ができる。教師がペンで描くのが難しい正多角形などの図形も、教材ソフトを使うことで簡単に描け、効率的に授業を進められる。